

故 越中哲也氏 長崎市「荣誉市民」に

9月25日に99歳で亡くなられた「越中先生」として越中哲也氏に、長崎市「荣誉市民」の称号を贈呈します。

(功績)

長年にわたり長崎の歴史・文化の調査や研究に取り組み、長崎学の振興・発展に大きく寄与されました。また、本市や県の各種審議会委員として、文化財保護行政の推進、出島復元整備や「新長崎市史」の刊行にご貢献されました。

(略歴)

- 大正10年 長崎市において出生
- 昭和49年 長崎市立博物館館長
- 昭和57年 長崎史談会会長・長崎歴史文化協会理事長
- 昭和58年 純心女子短期大学英米文化科教授
- 平成7年 長崎市市政功労表彰
- 平成14年 長崎純心大学博物館顧問
- 令和3年 長崎純心大学名誉教授

(荣誉市民)

公共の福祉の増進または産業、経済もしくは文化の発展その他について、その功績が特に顕著であり、市民の敬愛の的として仰がれるかたなどに、「荣誉市民」の称号を贈呈しており、越中氏は12人目の荣誉市民となります。

■問い合わせ 秘書課(☎829-1110)



越中氏の長崎くんちや精霊流しなどにおける軽妙で分かりやすい解説は多くの人を魅了し、市民から「越中先生」として親しまれました。

住みよいまちづくりへの 貢献に感謝



感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催

ながさき自治振興推進大会を11月6日に開催。永年にわたる自治会活動を通して、長崎のまちづくりに貢献した方々に感謝状を贈呈しました。

感謝状を贈呈されたかたは次のとおりです(敬称略・自治会長在職20年以上のかたのみを記載)。入江敏明、竹内一、貝賀恵美子、池田在邦、石田和典、江村大洋、武本家彦、谷下秀行、俵坂則光、西清、本多孝博、山口熙。

■問い合わせ 自治振興課(☎829-1134)

中国駐長崎総領事が 着任のあいさつに訪れました



長崎市のまちなみがふるさと・重慶市と似ていると語る張氏

9月28日に11代目の中国駐長崎総領事に着任した張大興氏が10月13日、市長を表敬訪問しました。

張氏は、これまで中国各地と長崎市の青少年が交流してきたことに触れ「青少年の交流を推進していきたい」と語りました。田上市長は「市民と接する機会を持ち、市民の中国への親しみを感じてもらいたい」と話しました。

■問い合わせ 国際課(☎829-1113)

さしみシティプロジェクト 初認定!



左から(株)みらい長崎と、ワールドダイブ(株)

長崎のおいしい魚の魅力を高めたりPRしたりする取り組み「さしみシティプロジェクト」。10月18日、同プロジェクト初の認定式を執り行いました。

第1号は、みらい長崎ココウォークの「ココから発信!<発進!>さしみシティPR」((株)みらい長崎)、第2号は、認定事業者をメディア「ながさち」に掲載しSNSで情報発信する「さしみシティ×ながさち」(ワールドダイブ(株))が認定されました。

■問い合わせ 水産農林政策課(☎820-6568)

リネットジャパンリサイクルと 連携協定締結



中村社長とオンラインで協定を交わしました

10月21日、宅配便を利用したパソコンなど小型家電等の資源化に取り組むリネットジャパンリサイクル(株)と、家庭の使用済みパソコンなどのリサイクル促進に向けた協定を締結。同社と自治体の協定は全国481例目、県内では初めてです。

この協定で、市は市ホームページなどでパソコンを含む小型家電などの家庭への回収サービスの利用を周知し、適正な資源化を促進します。

■問い合わせ 廃棄物対策課(☎829-1159)

サクラ精機と立地協定締結



来年4月に開設が予定されています

滅菌装置などの製造で国内トップシェアを誇るサクラ精機(株)(長野県・東京都)が、設計開発拠点「長崎研究開発センター」を開設することとなり、10月25日、同社、県、市で立地協定を締結。

拠点では、滅菌装置の圧力容器の設計開発などのほか、県内の大学や企業と連携し、感染制御領域の技術開発にも取り組みます。開設後、5年間で地元を中心に10人程度の雇用を計画しています。

■問い合わせ 産業雇用政策課(☎829-1313)

明治安田生命保険相互会社と 包括連携協定締結



「連携による相乗効果に期待する」と、杉浦長崎支社長

地域のニーズに迅速かつ適切に対応し市民サービスの向上を図るため、10月27日、明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を結びました。

11月27日に開催するJリーグ後援のウォーキングイベントや、健康診断のチラシの共同作成・配布など、スポーツを通じたまちづくりや健康増進、安全・安心なまちづくりなどの分野に力を合わせて取り組みます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)